

事業所名

ちやうちやうがらす

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		親も子どももいきいきと生きられるように。地域福祉の発展と貢献に …生きづらさを抱える子どもだけでなく、保護者様の視点になって、親も子どももいきいきと生きられるような支援を行う。 …地域に貢献する地域福祉の選択肢の一つとして選んでいただく。					
支援方針		子どもを主体とした支援を行い、子どもがいきいきとできるような環境、支援を提供します。 子どもの成長を保護者と感じ、感動を共感出来るよう支援を提供します。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	主に健康的な生活を送れることを目的とし、それらのために種々の支援を組み合わせる支援を行う。具体的な支援として、看護師による食事等の介助から、食事の様子や健康状態の把握を行う。また自身での食事が可能な場合には、適宜スタッフが指導し食事等に関する技能を身につけられるよう支援を行う。					
	運動・感覚	身体の運動機能を強化する事によって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として、理学療法士等による指導の元、姿勢保持や健康維持のために種々の機能訓練を行う。					
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し、種々の支援方法を組み合わせる提供とする。具体的な支援として主に感覚遊びを通して、様々な物に触れたり感じたりして、知覚機能が発達するよう支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力だけでなく、身振り手振りなどのノンバーバルコミュニケーションの能力が向上するよう支援を行う。具体的な支援として、話しかける際などに身振り手振りなどを交えながら意思疎通を図ること、また子どもから身振り手振りなどの行動が見られた場合には言葉を交えながら褒めるなどで生起頻度が上昇するよう支援を行う。					
	人間関係 社会性	介助や遊びを通して、介助者との関係性を構築し、将来的により適切な援助が受け入れやすくなるよう支援を行う。					
家族支援		保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。			移行支援	ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。途切れの無い支援のために、ライフステージに合わせた支援を実施出来るように適宜調整や情報交換を行う。	
地域支援・地域連携		将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ることを目標とした包括的な支援を行う。そのために医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜行う。			職員の質の向上	必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、スタッフの知識と技術の向上を図る。	
主な行事等		季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。例として、夏祭り、クリスマス会、餅つき大会、プールなど。単一の事業所だけでなく、可能な限り複数の事業所で協力して開催し、あまり接することのない利用者同士の関わりが持てる機会を用意する。					